

令和5年4月1日  
京田辺市立田辺小学校  
校長 片山 義弘

田辺小学校は、150周年を迎え、創立以来これまで、小学校教育の充実・発展のため、先輩諸先生方、保護者・地域の皆様をはじめ多くの人々の願いや努力を大切にしながら、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

現代は、知識基盤社会の新たな進展やグローバル化の進行、情報化や急速な少子高齢化、人工知能(AI)の飛躍的な進化により、先を見通すことが困難な時代となっている。このような中、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会を構築することが求められている。学校教育においては、学習指導要領が示す、「社会に開かれた教育課程」を実現するためのカリキュラム・マネジメントの確立等を図り、情報活用能力を含めて新しい時代に必要となる資質・能力を育成するため、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指しつつ、グローバルな幅広い視野で教育活動を創造しなければならない。

こうした社会の変化や国の動向を注視しつつ、東日本大震災や新型コロナウイルス対応などの教訓と取組を共有し、社会において自立的に生き抜くために必要な「生きる力」をバランスよく確実に育むことが学校教育の責務である。併せて、家庭・地域との連携・協働により、人との関わりを通して、ふるさとの自然・歴史・文化から学ぶ教育を推進するとともに、学んだことを社会の発展へと役立てていく力を育成することも求められている。そのため、小学校教育においては、先人のあゆみを尊び、誇りとするとともに、他者と人権を尊重し合い、豊かな未来社会を創造する子どもを育成することが重要である。

田辺小学校の子どもたちは、「与えられたことはまじめに努力し、やり切ろうとする」「見通しが持てることには頑張っ取り組もうとする」といった良さが見られる反面、「指示待ちの児童が多い」「自分の考えを積極的に発言しない」「発展的な内容には粘り強く取り組めない」等の課題が見られる。

そこで、田辺小学校は、学校教育目標「一人一人の個性を伸ばし、ひとり立ちできる子どもの育成」の具現化に向け、「教師の育つ学校でなければよい子は育たない」という思いを基盤に、小学校教育の推進に全力を傾注し、保護者や地域の皆様の信託に応えようとするものである。

## 記

- 一、全ての児童に「わかる授業」と「楽しい居場所」を
- 一、豊かな人間性を備え、持続可能な社会の担い手の育成を目指した教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核とし、命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断・行動し命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域との連携・協働による教育活動の充実
- 一、安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、教職員の研鑽を基礎とした資質・能力の向上を図る現職教育の充実
- 一、教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」の推進

子どもに身に付けてほしい視点

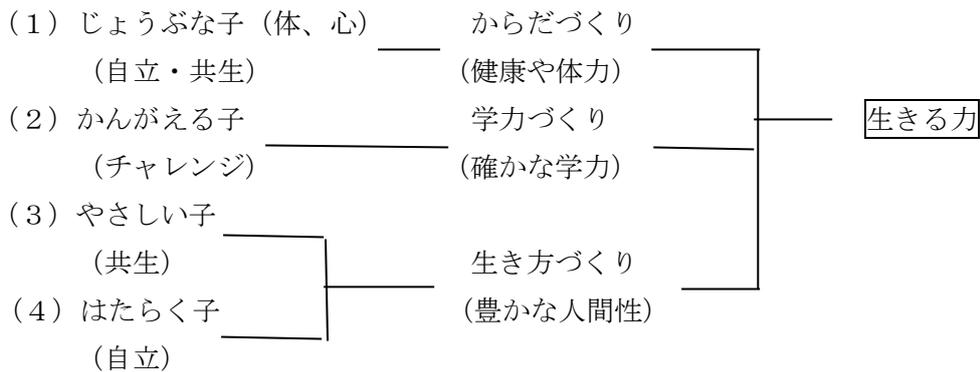
- 自分で生きていく知 -----自立
- 豊かな心 -----自分を大切にし人を想う心
- 健やかな体 -----健康を保持増進させる意識
- 公共心と社会参画 -----地域を愛し他者と協働する態度
- 未来を拓く志 -----多様性を尊重する広い視野

そのための教育の方向性

- 子どもの可能性を広げる
  - 主体的な学び 創造に向かう学び
- 魅力ある学校 豊かな教育環境
  - 安心安全 生き生きと働く教職員 地域とともに歩む
- 社会全体で子どもを育む
  - 多様な主体との連携・協働

↓

**求める子ども像**



- た …… たくましいからだと心 (からだづくり)
- な …… なかよし (生き方づくり)
- べ …… べんきょう (学力づくり)